

平成30年度 第1回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	平成30年6月11日
招集場所	日南町役場防災会議室
開 会	午後3時00分 教育長
出席委員	増原町長 丸山教育長 須田教育委員 中村教育委員 長谷川教育委員 中島教育委員
欠席委員	
オブザーバー	中村副町長、木下総務課長、安達教育次長、伊田日南小学校長 吹野日南中学校教頭、田辺保育園長、段塚室長、村上室長

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
協議	教育長	開会
	町長	今日は平成30年度の事業計画等について、よろしくお願ひしたい。状況を課題も含めて話してほしい。
	保育園長	小学校や中学校と連携はしているが、住民や教育委員の目に見えるところがなかなかできていない。保育園にも足を運んでもらえると嬉しい。
	町長	山の上保育園は5人だが、どんな状況か。
	保育園長	今年はじめたことは、他の園から以上児をよんで遊ばせたり3歳児をにちなん保育園に連れて行って遊ばせたりしている。交流や刺激をいれたりすることをやっている。
	町長	来年度はどうするか。
	保育園長	今年より人数は増えるが、子どもの姿をみながら保護者とも相談していく。保護者は存続するようになりたいと考えている。
	町長	できる限り3園残したい。
	小学校長	統合前に町民が願っていた姿と、統合して10年の姿に大きなギャップを感じる。町が目指す保小中一貫についてみんなで話合うことが必要。

中学校教頭	保護者が考えている小中一貫教育と、小中学校が行っている小中一貫にちょっとずれがある。保護者に、小中一貫教育なのに、なぜ参観日や懇談が一緒の日にならないかと言われることがある。一緒にできることは相談してするが、保護者の中には何でも小中一貫という意識の方もおられると感じている。
町長	保護者の中にも、体育祭を一緒にやったらどうかという方もあるが、実際なかなかそれはできない。一貫というのは形ではなく教育の中身で考えてもらった方がいい。
教育委員	小中一貫教育の中身の保護者への周知が足りないのでは。
教育委員	小中一貫校というのと、一貫教育というのと、とり違えがあったのではないか。保護者にも周知しないといけない。そこらあたりをきちんとしていく必要がある。
町長	うちの場合は一貫校ではなく一貫教育ということを書いていかななくてはいけない。新たに1年生になる保護者に一貫教育という話をきちんとした方がいい。情報はどんどん発信してほしい。障がいのある子どもの保護者の考え方はどうか。
小学校長	母親世代と祖父母世代の、大きな意識のギャップがあり、医療受診が頓挫する例が多くある。131人の子ども達の中で、特別な支援を要する子どもの数の多さに驚いている。日野郡は通級指導教室が無いが、日南小の中でも開設が必要なのではないかと思う。教員の放課後業務が多くなっている。町で手厚く配置して頂いているが、それ以上に子どもの課題に届いていかない。
町長	なぜ、こんなに率が高いのか。
教育長	基準が詳細になってきている結果だと思う。
小学校長	子どもの発達障がいと、保護者の不安定さが連動している。保護者の支援を手厚くしないと、子どもの支援に結びついていかない。社会の縮図もあるのかなと感じた。
町長	子ども達は朝食は食べてきているか。
園長	ほとんど食べてきている。
小学校	中には用意がしていない子どももあると聞いている。
中学校	学年で1名程度、食べてきていない生徒がいる。
町長	小学校は今年から英語教育を先行してやっているが、どうか。
小学校長	ALTに週2回来ていただいでいて助かる。機器が新しくないと、ソフトが機能しないので、環境を整えることが喫緊の問題。

町長	できたら小学生もシアトル派遣にチャレンジしてほしい。
町長	中学校は、学力はどうか。
中学校教頭	一昨年からバス通学を逆手にとって、放課後プリント学習ということで、30分間プリントをやってから部活に行くということをやっている。その中から、定期テストの問題を出すので、何を勉強していいかわからなかった生徒が、それを一生懸命やることで、勉強の仕方がわかってくると家庭学習にも繋がるので、少しずつ、標準学力調査も上がってきている。
町長	家庭学習ができていないように思う。本を読むだけでもよい。
中学校教頭	教科によっては宿題も出してはいるが、どうしてもわからない生徒は、答えを写して出すことになってしまう。やって点が採れた、ということで気持ちを育てていこうと思っているので、プリントが定期テストに連動しているとか、勉強したら必ず点が採れるとか、といった形で教科で工夫している。
町長	小学校は、放課後はどうしているのか。
小学校長	バスの時間までが長いので工夫はあるが、春は水泳から始まり、夏が開けたら陸上というように、子どもたちが先生と何か取り組む環境が昔と比べると少なくなっている。定着が甘くなっていて、やり切ることの集中力が乏しくなっている。保小中でずっと粘り強くやっていくという気持ちを育てていかないと、ちょっとできなかつたらすぐに諦める傾向を持っている子が多い。ひとつの物事に集中して取り組む環境を作っていかなくてはいけない。
町長	町に対する要望や提案はないか。
小学校長	コミュニティスクールが、努力義務から法制化になっていて日南町版のコミュニティスクール学校は地域づくりの核なので、役職のある方ではなく、思いのある方に集まってもらいたい。
町長	子ども達は、それなりに地域に参画していると思う。学校としての情報をどんどん地域に発信してほしい。教員も地域の中で、姿がみえたらいいと思う。
教育委員	小学校に遊び場や遊具が少ない。そのあたりがなんとかできないかと思う。是非考えて頂きたい。
町長	遊具というものは難しい。どこかで事故が起こると使用禁止になる。
小学校長	今年は安全面でプール解放も無しになった。一方で子ども達の夏の遊びが大丈夫かなとも思う。保護者が困られないか危惧している。
町長	鳥取県の子ども達は体力が低い。

教育長	今年、体育保健課が、全国の中で鳥取県が一番体の柔軟性がない、鳥取県の中でも日南町が一番良くないということで、重点的に体操をしている。
教育委員	各代表のみなさんに、オブザーバーとしてこの会に出席頂いているが、問題点を共有する重要な会と思っている。こういう会なら、毎月実施が正しいのではないか。現場に任せきりにしないで、我々も含めて話し合いのテーブルにつける機会が少ないのではないか。
教育長	基本は教育委員会なので、毎月の教育委員会の中で十分に意思統一をしておいて、町長に話をするのが本筋と思う。
町長	今度は、予算にむけての会になるということもあるし、結果としてこうなりましたという会もある。本来的には、教育長が言ったように、教育委員会でこういったことは町に伝えないといけない、逆に私の方から、総合教育会議を開いて論議したいということもある。
教育長	以上をもって第1回総合教育会議は終了します。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員